



Adobe Acrobat ProでPRINERGYのスクリーニングオプションにアクセス。
網点形状、線数、角度、カーブなどをオブジェクト単位で適用可能。

DotShop機能

- PDFファイルのオブジェクトごとに、網点形状、線数、ドットサイズ、スクリーン角度、およびドットゲイン補正カーブなどを適用することができます。
- ページ単位、画像単位、文字単位などのオブジェクトごとに調子加減の設定が可能です。
- Staccato（FMスクリーニング）ライセンスをお持ちの場合は、AMとFMの混在も思いのままです。
- Adobe Acrobat Proを使用してPDFファイルにスクリーンを適用します。

このようなお客様にお勧めします

- 網点の混在印刷をしたい。
- 画像はStaccato（FMスクリーニング）、文字や平網はAMスクリーニングにしたい。
- インパクトのある印刷物を作成したい。
- 他社とはひと味違う仕上がりで、付加価値を訴求したい。
- オブジェクトごとに最適な網点形状を選択、異なる角度を設定したい。
- モアレやジャギーを軽減し、より高品質な印刷物に仕上げたい。

DotShop適用の流れ

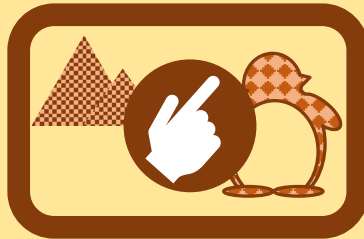
STEP 1



スクリーンインスタンスを作成

PRINERGYサーバー本体のDotShop Composer
でスクリーンインスタンスファイルを作成

STEP 2



PDFファイルにスクリーンを適用

Adobe Acrobat Proのプラグインを使用してPDF
ファイルにスクリーンを適用

STEP 3



DotShop設定を維持して出力

PRINERGYのプロセステンプレートで「DotShop
設定を維持」機能を使用して出力

※Adobe Acrobat ReaderではDotShopプラグインツールを使用できません。Acrobat Proをご準備ください。
※Acrobat WebではDotshopプラグインツールを使用できません（Acrobat WebはWebブラウザ版Acrobatです）。
※ご利用のPRINERGYバージョンによって、Acrobat Proの対応バージョンが異なります。詳細はお問い合わせください。



KODAK PRINERGYオプション DotShop 各種機能

網点を混在した印刷など、様々なご要望にお応えします。

1 スクリーニングの混在



Dotshop を使用した網点の混在例

Staccato

プレスリリース

ニューヨーク州ロチェスター、2020年12月9日 - コダックは、革新的なKODAK PRINERGY On Demand ビジネスソリューションの提供を開始することを発表しました。コダックは、Microsoft、PrintVis、その他の主要なソフトウェアプロバイダと連携し、あらゆるカテゴリや規模の企業にPRINERGY On Demand ビジネスソリューションを提供しています。この新しいソリューションにより、印刷会社が自社のビジネス

Round-Square(Euclidean)

印刷業界への先進的なビジネスソリューションを展開

ネスプロセス全体の利便性を高め、円滑に、効率的に管理することが可能になり、さまざまなサプライヤーからの多くのスタンダードソフトウェア製品を統合、更新することで、保守の複雑さとコストを軽減できます。PRINERGY On Demand ビジネスソリューションは、Microsoft Office のフル機能、CRM、ERP、および MIS 機能のコラボレーションソリューション、Web-to-Print、および PRINERGY On Demand 製品のワークフローを1つの完全に統合されたクラウドベースのソリューションプラットフォームにまとめたものです。この最先端のソフトウェアはMicrosoft Azure上で運用され、セキュリティと最高レベルの可用性が確保されます。コダックは、業界独自の分析機能とAI

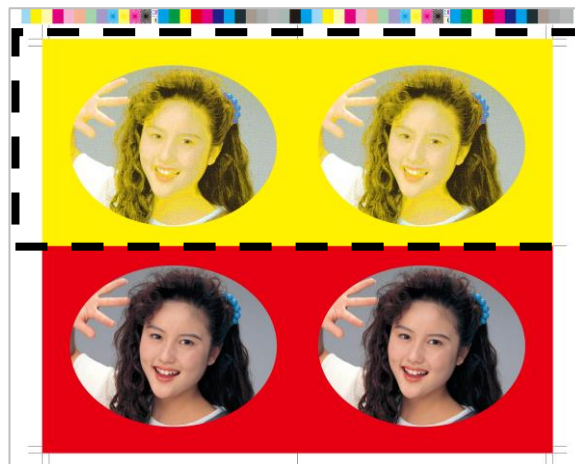
機能でソフトウェアを強化し、リアルタイムのマネージドサービスにより統合、IT管理、継続的なメンテナンスを実施します。PrintVisがMicrosoft Dynamics 365 Business Centralをベースにした印刷固有のERP/MISコンポーネントを、VPressが高度なWeb-to-Print、eコマースフロント、およびVDPオーソライズド機能を提供しています。コダックのプリン事業部はスプレッドシートであるトッド・ビガーは次のようにコメントしています。「コダックの PRINERGY On Demand ビジネスソリューションは、サブスクリプションによる完全な統合されたソフトウェア印刷業界にもたらします。」

KODAK Express March 2021 NO.30 1

PDFファイルのオブジェクトごとに、網点形状、線数、ドットサイズ、スクリーン角度、およびドットゲイン補正カーブなどを適用することができます。1つの印刷物上で、肌物の画像やハイキー（女性や花など）とミディアムキーのディティールがある画像の網点は「Round」を選択、ミッドトーンを主成分としない画像や、ハイキーとローキー（男性や金属など）の画像の網点は「Round-Square(Euclidean)」を選択するなど、画像ごとに網点形状を変えることにより、他社とはひと味違う印刷物の仕上がりを実現します。Staccato（FMスクリーニング）ライセンスをお持ちの場合は、平網にはAMスクリーニング、画像にはFMスクリーニングを適用するなど、混在処理も思いのままです。

2 調子加減対応

DotShopであればページ単位はもちろんのこと、画像単位、文字単位などのオブジェクトごとに調子加減を設定できます。殖版機または手焼きなどで行っていた製版フィルムの調子加減が、CTP出力でも同様に実現可能となります。複数箇所を選択し、一括で設定値を適用することが可能です。



特定の画像のみ選択し、調子加減が可能



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)

大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270

仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250

製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com

2021-03